

群馬県作業療法士会 令和5年度第5回理事会 議事録

日 時 : 2024年1月31日(水) 19:00~

20:30 会 場 : Zoom 使用でのリモート会議

参加者: 新井、石森、今村、小此木、勝野、木村、高坂、小林、柴田、関根、高橋、都丸、長谷川、山口、吉岡、李、唐澤(監事)、以上 17名 (50音順に表記)

I. 各部議事 1. 新井

会長

来年度に向けて、群馬県において作業療法士連盟の設立について検討していきたい。また、2025年度は群馬県作業療法士会が40周年をむかえるため、40周年記念式典開催の是非を検討していきたい。この2点について次回議題として提示していく。

卒業生が排出される時期となった。各養成校所属の理事におかれましては、協会及び県士会に所属することの意味や意義を学生に必ずお伝えいただき、入会をして頂けるよう積極的な案内をしていただきたい。

2. 学術部 [担当: 李理事・吉岡理事]

1) 報告事項

①学術研究グループ (近藤グループ長)

- 学術部研究グループの勉強会をこれまでに7回実施した。
- 全国OT学会(沖縄)で発表する3名のスライド・ポスター作成支援を実施した。今年度の群馬県作業療法学会で発表する予定の抄録作成支援(2名)実施している。

②学会支援グループ (野口直人グループ長)

- 第25回群馬県作業療法学会の当日運営の支援を行った。

- 第25回群馬県作業療法学会の財務管理(講師謝礼金、実行委員行動交通費の管理)を行った。

③機関誌編集グループ (糸井陽祐グループ長)

- 2023年度の機関誌・学会誌を発刊した。
- 2024年度機関誌の論文募集を県士会マーリングリスト、学会発表者への個別連絡にて実施した。

(学会開催が9月になるため、2024年度分の投稿締切は2月末に設定)

- 学会支援グループと、次年度学会運営マニュアルの修正を進めている。

2) 審議事項

①群馬県作業療法学会の演題応募資格の改変について 他県士会の応募資格を参考にし、群馬県作業療法学会の演題応募資格の改変についてご審議をお願いします。改変案は以下の通りです。

旧

【応募資格】

- 群馬県作業療法士会の正会員、賛助会員は、演題応募資格があります。ただし、演題募集の締め切り時点において、当該年度の会費の未納者は応募資格がありません。応募前には必ず会費を納入して下さい。
- 作業療法士免許を有する者で都道府県作業療法士会に入会していない方は、応募することができませんが共同演者になることはできます。学生も同様です。
- 作業療法士以外の職種の方は、非会員として学会長の承認を得て演題を応募することができます。
- 作業療法士以外の職種の方は共同演者になりますことができます。

新(案)

【応募資格】

- 演者(筆頭)としての応募資格は、原則として群馬県作業療法士会の正会員ならびに賛助会員、または日本作業療法士協会の正会員に限ります。演題募集の締め切り時点において、当該年度の会費の未納者は応募資格がありません。応募前には必ず会費を納入して下さい。
- (1)に該当しない者は、原則として演者(筆頭)としての応募資格はありませんが、演者(共同)としての応募は可能です。ただし、群馬県作業療法学会学会長および実行委員会の承認が得られる場合は、演者(筆頭)として応募可能です。
- 作業療法士以外の職種の方は、非会員として学会長の承認を得て演題を応募することができます。(削除)
- 作業療法士以外の職種の方は共同演者になりますことができます。(削除)

来年度からの群馬県作業療法学会の開催時期変更に伴い、マニュアルのスケジュール・担当者・業務

内容を、また、学術部の審議事項で挙げさせていただきました「群馬県作業療法学会の演題応募資格」についても変更させていただきましたのでご審議の程、よろしくお願ひ申し上げます。

審議結果：上記内容でマニュアルの変更が承認されました。

3. 運転と作業療法特設委員会 [担当：李理事]

1) 報告事項

①2023年12月2日（土）にzoomで運転と地域移動に関する都道府県士会協力者会議が開催された。

2) 審議事項：なし

4. 福祉用具委員会 [担当：柴田副会長・石森理事]

1) 報告事項

①福祉用具相談支援システムおよび生活行為工夫情報事業の県士会員登録状況

令和6年1月25日時点において、福祉用具相談支援システムの登録者数は42件、相談件数は2件。生活行為工夫情報事業については、投稿が1件あった。次回ニュースにて県士会員へ事業内容および群馬県作業療法士会が事業に参画した旨を周知する。

②2023年度 生活行為工夫情報事業東部ブロック連絡会 令和6年1月29日に開催された、2023年度生活行為工夫情報事業東部ブロック第2回連絡会に美原記念病院石森卓矢が参加し、群馬県における福祉用具相談支援システムと生活行為工夫情報事業の運用内容を報告した。

2) 審議事項：なし

5. 地域局 [担当：柴田副会長・今村理事・小此木理事・山浦理事]

1) 報告事項

①北中毛ブロック支部（小此木理事）

- 前橋市介護認定審査員をデイサービスひゅーげの廣崎OTRに依頼し受諾、2月1日～活動していくだく。

- 北中毛地域の市町村における地域支援事業担当者に対してOT参画状況のアンケートを行った。

②西毛ブロック支部（山浦理事）

- 西毛地域の市町村における地域支援事業担当者に対してOT参画状況のアンケートを行った。

- JRATの参加者募集のメール配信を行った。

③東毛ブロック支部（今村理事）

- 第26回群馬県作業療法学会の準備を進めている。

- 東毛地域の市町村における地域支援事業担当者に対してOT参画状況のアンケートを行った。
- 太田市宝泉地区の介護予防教室の依頼があり、東毛ブロックの会員に参加の意思を確認している。

④全体

- 群馬県作業療法学会のシンポジストに対する公文書のやり取りは、各ブロック支部長に依頼していく。
- 医療介護連携フェスティバルin高崎をFacebookにて広報していただいた。
- JRATの参加者募集方法について共有した。各ブロック支部長からメール配信を行う。

2) 審議事項：なし

6. 教育部 [担当：勝野理事・今村理事]

1) 活動状況

会議：ブロック長会議 コロナウイルス流行のため、メールで隨時審議を実施。

11/13にzoomにてリモート会議実施。

2) 報告事項

①令和5年度 現職者共通研修・選択研修・基礎ポイント研修（実施済、予定の報告）

- 現職者共通研修 「実践のための作業療法研究」
日時：2023/12/6 講師：近藤グループ長
参加者 22名
- 現職者共通研修 「保健・医療・福祉における地域支援」
日時：2023/11/22 講師：山口グループ長
参加者 20名

- 現職者共通研修 「作業療法の可能性」
日時：2024/1/10 講師：山口副会長
参加者 23名

- 現職者共通研修 「日本と世界の作業療法の動向」
日時：2024/2/28 講師：新井会長

- 現職者選択研修（老年期領域）
日時：2024/1/28
講師：悴田OTR、小池OTR、真塩部長、大手OTR

- 基礎ポイント研修（精神）
日時：2023/12/8
講師：島田先生（メンタルサポートそよかぜ病院）
参加者 29名

②令和6年度 新人症例発表会
日時：令和6年7月21日 会場：群馬医療福祉大学での対面開催を予定統括：吉田OTR（群馬整肢療護園）その他：

抄録の書式を県学会、OT 学会の書式を参考に修正した。

③その他

・次年度の研修について

2024 年度も現職者共通・選択研修、基礎ポイント研修の開催を計画する。

基礎ポイント研修に関しては、次回ブロック長会議で講師や研修内容の希望を確認する。

・新生涯教育制度について

2025 年度から OT 協会の生涯教育制度が新しくなる予定。

まだ未確定のことも多いため、詳細が分かり次第、必要な準備をすすめる。

3) 報告事項

①新人症例発表会での各部 PR について

2024 年度から新人症例発表会が対面へ戻る予定です。福利厚生部と連携して、新人症例発表会のお昼休みに各部の紹介スライドを流して PR することを検討しています。県士会の組織力強化につながると考えますが、いかがでしょうか？

賛同いただける部は、紹介したい内容や入部案内をパワーポイントで作成して教育部理事まで提出してください。

締め切りは 5 月末を予定しています。

審議結果：上記内容ですすめていく。合わせて、パワーポイント資料を冊子に組み込むことを検討していく。

また、新人症例発表会に学生の参加を促すことで、学生と県士会や臨床教育との関係性をもっと身近にしていくように、養成校連絡協議会と連携して検討していく。

7. 地域作業療法推進部〔担当：高坂理事・山浦理事・吉岡理事〕 1) 報告事項

①地域包括ケア推進グループ（山口グループ長）

・12 月 21 日に定例会議を実施した。

・令和 6 年 2 月 23 日（金）群馬医療福祉大学で令和 5 年度群馬県地域医療介護総合確保基金事業にて行う介護予防に資する指導者人材育成研修を対面形式で開催予定である。

・令和 6 年 3 月 3 日 日本作業療法士協会主催の第 3 回地域支援事業会議に参加予定である。

・令和 6 年 3 月 12 日 日本作業療法士協会主催の地域支援事業ブロック会議に参加予定である。

・県内の広域支援センターを対象に、リハビリテーション専門職による地域支援事業参画状況に関するアンケート調査を実施した。

②認知症支援推進グループ（笹谷グループ長）

・2 月 17 日の認知症の人と家族の会の「つどい」に笹谷・野村が参加した。

・2 月開催予定の研修会に向けて他職能団体への広報を進めた。

・研修会の運営にあたり「運営マニュアル」を作成しグループで共有した。

・来年度の研修会企画をメール上にて検討している。

③精神科領域推進グループ（加藤グループ長）

・12 月 1 日 メンタルヘルス情報交歓会を実施し、若年層を中心とした作業療法士 18 名が参加した。

・12 月 19 日 オンラインでグループ会議を開催した。

・1 月 21 日 群馬県作業療法士会主催地域自殺対策事業研修会「現代社会を生きる私たちのメンタルヘルス誰もが生きやすい社会を目指して」を開催した。作業療法士 18 名を含む、27 名が参加した。

④発達支援推進グループ（六本木グループ長）

・研修会企画委員会議をオンラインで 12 月 6 日、1 月

5 日に開催した。

・ブロック長会議をオンラインで 12 月 11 日に開催した。

・『学校を理解して支援ができる作業療法士の育成研修会一基礎編一』（以下、学校 OT 研修会とする）開催に向けて、群馬県教育委員会との打ち合わせに、吉岡理事、六本木 G 長、小田氏が出席した。

・1 月 10 日 19:00～21:00 で第 5 回定期勉強会をオンラインで開催した。テーマは『外部専門家派遣事業トレーニング編”先生の困ったに応えられる OT になろう” 情報収集の方法や伝え方を学ぶ』事例に對してロールプレイ形式の研修を行った。参加者数

14 名

（すべて作業療法士）であった。

・1 月 16 日に学校 OT 研修会に向けた運営会議を対面式とオンラインのハイブリッドで開催した。

・1 月 27 日に日本作業療法士協会制度対策部が開催する教育領域への作業療法士参画に向けた意見交換会に六本木 G 長、小田氏、中嶋氏と出席予定。その中で群馬県士会における特別支援教育に関する取り組みについて報告する。

・2 月 4 日、18 日の 2 日間で学校 OT 研修会を開催予定。ハイブリッド開催で会場は群馬医療福祉大学本町キャンパス。定員は 60 名、群馬県内外の日本

作業療法士協会員を対象として 1 月 28 日まで申し込みを受付中である。

2) 審議事項：なし

8. 養成校連絡協議会 [担当：小林理事・高坂理事]

1) 報告事項

第 25 回群馬県作業療法学会で、学生交流会を開催した。県内養成校から 45 名が参加した（1 月号からつ風通信にて報告予定）。

2) 審議事項：なし

9. 広報部 [担当：都丸理事]

1) 報告事項

①公益事業グループ（グループ長：中澤）

・高校生を対象とした OT 啓発イベントの 2 回目の開催は応募がなく見送りとなった。イベントの開催方法などの見直しを年内に部会を開催し検討予定。

②ニュース編集グループ（グループ長：反町）

・1 月号は印刷段階となり、会員の元へ届いた段階で今年度の活動は終了となる。巻頭言の執筆依頼に苦慮しており、来年度以降の課題の一つとなる印象。また、外部の方向けの情報が少ないため、広報誌としてのあり方を検討したい。

・次回は新年度になり、4 月号の発行となる。掲載記事がある場合には 4 月 5 日を目途にデータの送付をお願いしたい。

③広報企画グループ（グループ長：金子）

・公益事業 G と合同で活動実施。各部と情報を共有し必要な外部情報の収集とまとめを行う。

2) 審議事項：なし

10. 福利厚生部 [担当：小此木理事、勝野理事]

1) 報告事項

①優秀学生賞について

各養成校に対して優秀学生賞の選出を進めています。

②ライフイベントに向けたアンケート結果について

今後、県学会で掲示した「ライフイベントに向けたアンケート」を取りまとめ、県士会員へ情報発信していきます。

③新人症例発表会について

福利厚生部として、新人症例発表会優秀演題賞の表彰及び県士会のオリエンテーション（県士会の説明）を行っていきます。今後、教育部と連携を図っていきます。

2) 審議事項

①新人症例発表会について

新人症例発表会のオリエンテーションを休憩中に PowerPoint のスライドショーのように流せないかと考えています。今後、PowerPoint 作成後、ご確認の上、ご了承頂きたいと思います。

審議結果：教育部での審議の通り、すすめていく

11. 全国訪問リハビリテーション学術大会 in 群馬 [担当：小此木理事、都丸理事]

1) 報告事項

R6. 1. 10 に三役で群馬県観光物産国際協会へ挨拶に伺った。

パンフレットやき支援企業の紹介、群馬県の PR 動画についてご支援頂ける事になった。

近日中に実行委員会開催予定。学会の企画について検討していく予定。

6 月 1、2 日に訪問リハビリテーション学術大会 in 山形に

三役で参加を検討している。

2) 審議事項：なし

12. 事務局 [担当：小此木理事、都丸理事]

1) 報告事項

①令和 6 年能登半島地震による JRAT 活動参加申し込みを開始した。

②令和 6 年能登半島地震 JRAT 派遣に関する緊急会議開催日時 2024 年 1 月 11 日 19 時から 20 時 10 分開催場所 WEB ZOOM 参加者（敬称略）

和田教授（群馬大学） 群馬 JRAT 代表

PT 協会 渡辺 山路 白田 佐藤 井上 坂本
高木 新谷（書記）

OT 士会 新井 関根 長谷川 今村 山浦 石森
ST 士会 木村 永原 角田 江口

JRAT 派遣に関しては、PT/OT/ST それぞれの士会で、募集をかける。

最終的なチーム編成は群馬 JRAT で行い、参加登録を行う。

場合によっては長期的な活動となる可能性がある。

2) 審議事項

①弔慰規程について前回理事会での指摘事項をもとに弔慰規程を修正した。以下の内容で良いか審議したい。

（趣旨）第 1 条 この規程は、一般社団法人群馬県作業療法士会（以下「本会」という。）の弔慰について定める。

（対象）

第2条弔慰の対象は本会の正会員、および名誉会員とする。

その他関係者、関係団体にあたっては、会長、副会長が協議し対処する。

(弔慰) 第3条 正会員が死亡した場合は、弔電に加え、供花1基または香典のいずれかをもって弔慰とする。

(支出の基準)

第4条 供花または香典については、1件につき1万円を上限とする。

(経費の支出)

第5条 経費の支出は、予備費を充てる。

(報告) 第6条 弔事等の事例が発生した場合は、関係者がすみやかに事務局に報告するものとする。

(規程の変更)

第7条 この規程は、理事会の議決がなければ変更できない。

附 則 1. この規程は、令和●年●月●日から施行する。審議結果：第3条について、香典を基本とし、香典を辞退された場合は供花とするという意見があった。また、供花の場合、第4条の上限額が変わることが懸念される。これらの内容を以って、再度事務局で検討し、メール審議を行っていく。

②組織力強化を目指す各都道府県士会と協会の役職者意見交換会 日程について前回の理事会で4月～5月に予定を調整する事となっていた。

協会が挙げている候補日の中で選定する形となります。4月及び5月の予定が確認できた段階で調整作業に入ります。

事務局としては、5月は決算や総会準備となりますので、出来れば3月または4月が良いです。

審議結果：4月の実施を検討していく。日本作業療法士協会の予定を確認次第、理事へ日程調整の連絡をしていく。

③2024年総会開催について

・日程候補日

6月1日(土)、2日(日)、8日(土)、9日(日)、15日(土)、

16日(日)、22日(土)、23日(日)、29日(土)、30日(日)

・開催方法対面：来場制限なし部主催の研修会・会議等の合同開催希望あれば、お受けしますが、特になければ、総会単独での開催とします。

・会場：未定

・議長・書記・議事録署名人：未定審議結果：日程は6月23日(日)とする。会場は事務局が検討していく。

13. 令和6年能登半島地震 JRAT活動派遣報告

[担当：関根副会長]

1) 報告事項

群馬県では、東京本部の要請を受け群馬JRATの派遣調整を行い、第一陣として矢島医師、山路PT、永原ST、関根OTの4名体制で1月20日(土)～1月22日(月)の期間で活動した。活動内容については、今後ニュースで会員に向け報告する予定。第二

陣については、具

体的な日程に合わせて調整していく予定。

2) 審議事項：なし

14. 財務部 [担当：高橋理事、小林理事]

1) 報告事項

昨年度の活動費について支払い手続きを行った。今年度の活動費については、給与として支出するため、マイナンバー、名前、住所をすみやかに提出するよう各部局の理事から部員に周知してほしい。

2) 審議事項：なし

II. その他

1. 全国リハ学校協会による臨床実習指導者講習会(理学療法)の開催予定が群馬県OT養成校担当の山口副会長より報告された。当会が主催する当該講習会との日程重複に留意する旨が伝達された。

2. 次回理事会 3月13日(水) 19:00～Zoomにて実施予定とする